

Smart-B.R.A.I.N.

Car Information & GPS Radar

OBD 通信機能 取扱説明書

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。なお読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
<u>長押し</u>	スイッチを 2 秒程度長めに押すことを示しています。
	スマートフォンを接続している場合に設定できる項目です。

本製品は安全運転と法規走行を促進するためのものです。
道路交通法を遵守し、安全運転を心がけましょう。

iRadar
Scanners
POWERED

BLITZ

目次

目次	2	付録	24
ご使用上の注意	3	初期状態に戻す (オールリセット)	24
各部の名称	5	ディスプレイモード	25
Smart- B.R.A.I.N. 本体	5	マニュアル電源供給モード	26
OBD アダプター本体	5	故障かな?と思ったら	27
梱包内容	7	製品仕様	28
取付方法	8	商標について	29
DIP スwitchの設定	8	さくいん	30
DIP スwitch設定一覧	9	MEMO	31
本体の接続	10		
基本操作	12		
待機画面の切替え	12		
OBD 情報表示項目の切替え	13		
ピーク表示とリセット	13		
表示項目一覧	14		
スマートフォンでできること	16		
スマートフォンで利用できる機能	16		
スマートフォンと接続	18		
拡張機能	19		
DATA LOGGING SOFT	19		
OBD アダプター本体をアップデート	20		
製品保証について	22		
製品保証とカスタマー登録	22		
お問い合わせ	23		

はじめに

この取扱説明書は、お客様が本製品を安全に、正しく組み立て、装着し使用していただくために、装着前ならびに組立て前に必ずお読みください。また、本製品をご使用になられている期間は、この取扱説明書を大切に保管し、売却、譲渡の際は、本製品に添付してお渡しく下さい。品質には万全を期しておりますが、誤ったご使用方法や取り扱い（組み立て方法）によって受けられた損害や、改造、変造など行った製品を使用して受けられた損害については、弊社はその一切の責任を負うことができませんので、予めご了承ください。

- ・ 表示項目の説明（シグナルワードとその意味）



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

安全上のご注意 ※必ずお読みください



警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、本人または第三者が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険な状況を示します。

- ・ 本製品は、DC12V 車で車体（ボディ）アースの車両専用です。DC24V または 12V・24V 兼用車には使用しないでください。火災の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。配線にはヒューズを取り付けたり、車体絶縁部や他の電装品と接触するような配線を取らないようにしてください。
- ・ 本製品の取付け時に、電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。使用しない配線などは、絶縁テープを巻くなどして、必ず絶縁対策を行ってください。
- ・ 接続、取付けに関しては必ず専門の業者にて行うようお願いします。ご自身で取付けを行う場合は必ず専門知識並びに車両知識のある方のもとで行い、慎重に作業をしてください。
- ・ 本製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、販売店または弊社までお問い合わせください。そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ 本製品の加工・分解・改造などは一切行わないでください。火災・感電・電装部品の破損、焼損の原因となります。加工・分解・改造等の形跡が見られる場合、クレーム・修理の対象外とし、車両および電装品の故障や事故が発生した場合でも、弊社では一切の責任を負うことができませんのでご了承ください。
- ・ 本製品に水が直接かかる場所には取り付けしないでください。感電・火災・電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ 本製品および配線類・付属品はしっかりと固定し、視界や運転の妨げになる場所・不安定な場所に取付けしないでください。運転に支障をきたし、事故の原因になります。
- ・ 本製品は電子部品を使用した精密機器のため、衝撃を与えたり、装着時に無理な力を加えないでください。動作不良を起こし、製品の故障や車両を破損する恐れがあります。
- ・ 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与えないことが生じる恐れがあります。
- ・ 運転者は走行中に本製品およびスマートフォン等の操作を絶対に行わないでください。操作が必要な場合には車両を安全な場所に停車するか、同乗者が操作を行って下さい。

ご使用上の注意

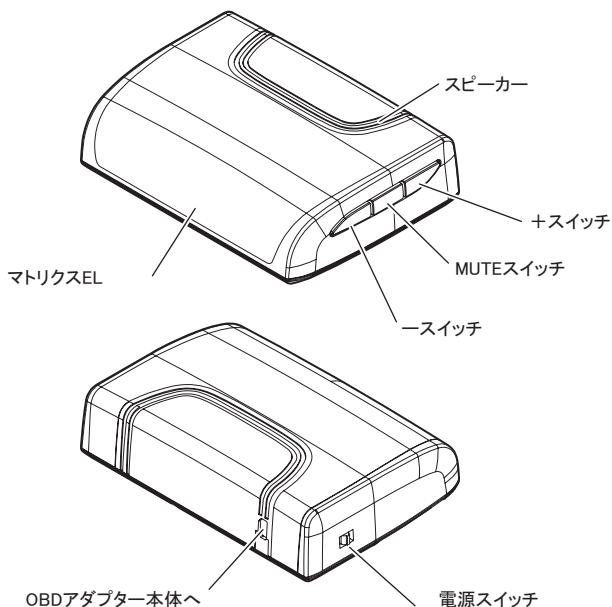


注意

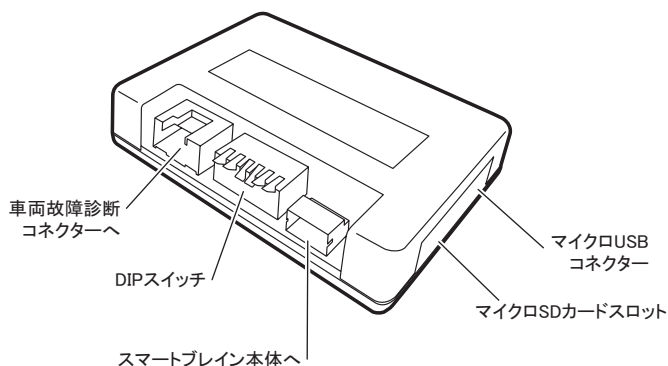
この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生が想定される状況を示します。

- ・ 本製品にはお買い上げの日から1年間の製品保証が付いています。(両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません。)
- ・ 本製品の近くに他の GPS 機能を持つ製品を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・ 本製品は故障診断コネクタ (OBD II コネクタ) に接続します。弊社製品含むその他 OBD 機器とは併用することができません。製品や電装品の破損、車両故障の原因となります。
- ・ 本製品の GPS 警報は、予め登録されたオービスや取締ポイント等の GPS データとお客様が任意で登録した位置のみ有効です。
- ・ 本製品の制限速度データは調査した時期以降に制限速度が変更された等の理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転をされる際は必ず、実際の交通規則に従い走行してください。
- ・ 本製品は電波の受信できない下記のような場所では、本製品の GPS 機能が働かないため、GPS による警報、表示、メモリー機能が正常に動きません。(トンネル、地下道、建物の中、ビル等に囲まれた場所、鉄道や道路の高架下、木々の多い森の中等)
- ・ 車載テレビ等で UHF56 チャンネルを受信していると、GPS 衛星を受信できないことがあります。このような場合は車載テレビ等のチューナーから本製品を離し、GPS 受信に影響のない場所に本製品を取り付けてください。
- ・ 一部の断熱ガラス (金属コーティング・金属粉入り等)、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS・レーダー波等の電波を受信できない場合があります。
- ・ 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の補償に関しては一切の責任を負いかねます。
- ・ 一部ナビゲーションシステム、車載用各種チューナーや衛星放送受信機等の車載電子機器から本製品の受信できる周波数帯と同じ電波が出ている場合、本製品は誤って警告を行うことがあります。
- ・ 取締機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器 (下記) 周辺で、本製品がレーダー警報を行うことがあります。誤作動ではありません。(自動ドア、防犯センサー、車両通過計測器、一部の気象用レーダー、一部の航空用レーダー)
- ・ 本製品の受信機能は、製品仕様欄に記載されている周波数帯のみ有効です。
- ・ G ジャイロセンサーのみでは、自車位置を完全に検出することはできません。走行状況によっては警報できない場合があります。
- ・ 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にご相談ください。
- ・ 環境保護と資源の有効利用をはかるため、寿命となった本製品の回収を弊社にて行っております。
- ・ 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- ・ 本製品の仕様および、外観の改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。
- ・ Google Play、App Store からアプリケーションをダウンロードしてご利用ください。
- ・ データ通信ができるスマートフォン、および、タブレット端末が必要です。アプリ使用中はスマートフォンの通信料が発生する場合があります。また、バッテリー消費が多くなるため、充電しながら使用することをお勧めします。
- ・ 本製品およびアプリにはナビゲーション機能は搭載していません。
- ・ スマートフォンをオーディオ、ナビゲーション、その他周辺機器と接続した状態では本製品が正常に作動しない場合があります。
- ・ スマートフォンをコンボジット AV ケーブル、または HDMI ケーブル等で接続した状態では本製品が正常に作動しない場合があります。
- ・ アプリケーションが正常に動作しない、強制終了する際は、スマートフォンのメモリ使用率が高い可能性があります。バックグラウンドで動作している他のアプリケーションを終了する、再起動する等、空きメモリを増やしてください。

Smart-B.R.A.I.N. 本体



OBD アダプター本体



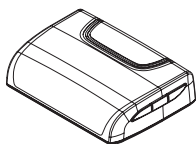
各部の名称

本体スイッチ操作一覧

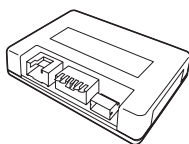
項目	スイッチ操作			備考
	－ スイッチ	MUTE スイッチ	＋ スイッチ	
音量アップ	－	－	短押し	－
音量ダウン	短押し	－	－	－
ミュート機能	－	短押し	－	各警報発生中 ※ ミュート中に再度 MUTE スイッチ短押しでミュート解除
画面表示パターン切換え	－	長押し	－	待機画面表示中
OBD 情報項目切替え	－	－	長押し	1 連、2 連でデータ項目表示中
OBD 情報 Peak 値表示	短押し	－	－	項目選択中に操作
OBD 情報 Peak 値クリア	長押し	－	－	項目選択中に操作
表示小エリア切替え	短押し	短押し	－	待機画面表示中 2 画面表示状態
表示大・中エリア切替え	－	短押し	短押し	待機画面表示中
ロードセレクト	－	短押し	－	待機画面表示中
ユーザーポイント登録 解除	長押し	－	－	待機画面表示中 ユーザーポイント警報中に操作
レーダーキャンセルポイント登録 解除	－	－	長押し	レーダー警報中に操作 キャンセルミュート中に操作
GPS 警報キャンセル登録 解除	－	－	長押し	オービス警報中に操作 キャンセルミュート中に操作
パスメモリ登録	－	－	長押し	無線警報中に操作 ※ 解除はオールリセットを行う
ベアリングモード移行	長押し	－	長押し	待機画面表示中
明るさ（通常）設定	長押し	長押し	－	待機画面表示中
明るさ（ディマー）設定	－	長押し	長押し	待機画面表示中
ディスプレイモード	－	5 秒以上 長押し	－	オープニング画面表示中
オールリセット	長押し	－	長押し	スイッチを押した状態で 電源 ON

梱包内容

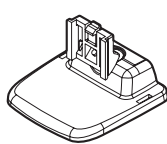
Smart-B.R.A.I.N. 本体 (1 個)



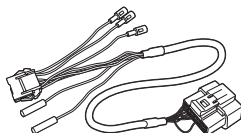
OBD アダプター本体 (1 個)



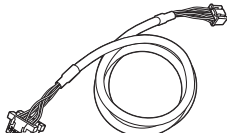
DISPLAY ステア (1 個)



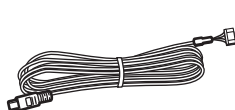
OBD メインハーネス (1 個)
(約 0.5m)



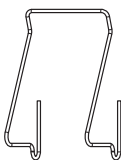
OBD アダプターハーネス (1 個)
(約 0.5m)



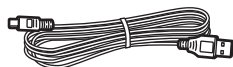
通信ケーブル (1 個)
(約 2m)



サンバイザークリップ (1 個)



Smart-B.R.A.I.N. 本体アップデート用
USB ケーブル (1 個)
(約 1m/ 8pin)



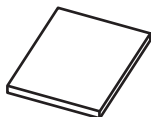
IG 用シガープラグ (1 個)
(約 1.5m/ ヒューズ内蔵)



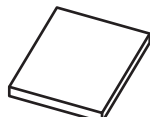
マイクロ SD カード (1 個)
(2GB)



両面テープ (1 枚)
(ステア固定用)



粘着シート (1 枚)
(ステア固定用)



取扱説明書
(レーダー)



取扱説明書
(OBD 通信)



保証書



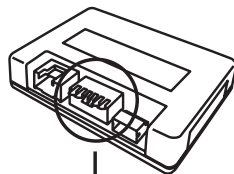
※ 取扱説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。

※ OBD アダプター本体アップデート用の USB ケーブルは本製品には同梱しておりません。別途ご用意ください。

取付方法

DIP スイッチの設定

- ・ OBD アダプター本体の正面中央に DIP スイッチがあります。製品の取り付けを行う前に、必ずご使用いただく車両に対応した通信方式を、DIP スイッチで設定してください。
- ・ 車両の通信方式、DIP スイッチの設定については、弊社ホームページより本製品の最新適合表をご確認ください。



DIP スイッチ

⚠ 注意

- ・ DIP スイッチの設定は爪楊枝や精密ドライバー等で確実に行って下さい。その際、怪我や OBD アダプター本体の破損には十分注意してください。
- ・ DIP スイッチを設定する際は、必ず OBD メインハーネスを車両側コネクタから抜いた状態で行って下さい。接続時に DIP スイッチの設定を読み込むため、接続したままスイッチの操作を行っても設定は反映されません。
- ・ OBD コネクタを抜き差しする際は、必ず車両のエンジンが停止している状態（キー OFF 状態）で、本製品の電源が OFF になっていることを確認してから行って下さい。

DIP スイッチ設定一覧

通信方式	DIP スイッチ設定	通信方式	DIP スイッチ設定
TOYOTA		MITSUBISHI	
TOYOTA ASIA		MITSUBISHI CAN	
TOYOTA CAN		SUBARU	
NISSAN		SUBARU CAN	
NISSAN NON OBD ※ 1		SUZUKI	
HONDA1		SUZUKI CAN	
HONDA2		DAIHATSU	
HONDA CAN		ISO CAN	

※ 1 取付けには別途 NISSAN NON OBD ハーネス（別売）が必要となります。

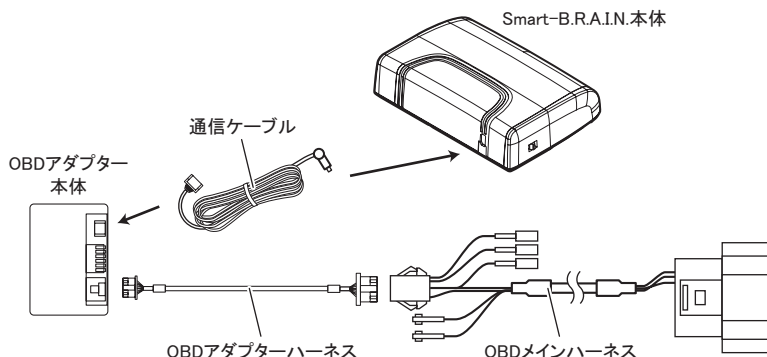
※ お取付け車種の通信方式については、弊社ホームページより本製品の車種別適合表をご覧ください。

取付方法

本体の接続

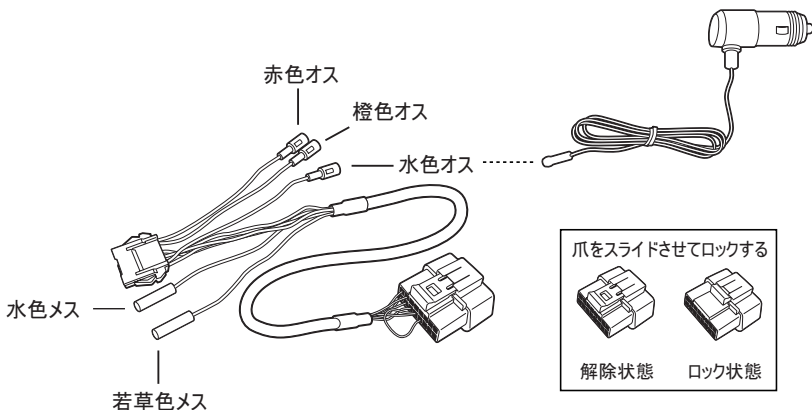
- ・ 下記イラストに従って、OBD メインハーネス、OBD アダプターハーネス、通信ケーブル、及び、OBD アダプター本体、Smart-B.R.A.I.N. 本体を接続してください。

※ Smart-B.R.A.I.N. 本体の取付けは別冊のレーダー機能取扱説明書を参照してください。



OBD メインハーネスの接続

- ・ 右記指示に従って、OBD メインハーネスの各種コネクタを接続してください。



配線色	接続先
赤色オス	オプションで使用 (DAMPER ZZ-R SpecDSC)
橙色オス	オプションで使用 (DAMPER ZZ-R SpecDSC)
水色オス	水色メス、または、シガープラグに接続
水色メス	水色オスに接続 (シガープラグを接続する場合は使用しません)
若草色メス	使用しません

・シガープラグを接続する場合

本製品を正しく接続しても電源が ON にならない、または車両のエンジンを停止し (キー OFF 後)、しばらく経っても電源が OFF にならない場合や、電源が ON-OFF を繰り返す場合には、付属のシガープラグを使用して水色オスコネクタを接続してください。

※ シガープラグを使用して接続しても、一部の車両 (輸入車) で、上記のような症状が出る可能性があります。その際は IG-ON で +12V が発生する線と、OBD メインハーネスの水色オスコネクタを直接接続してください。

警告

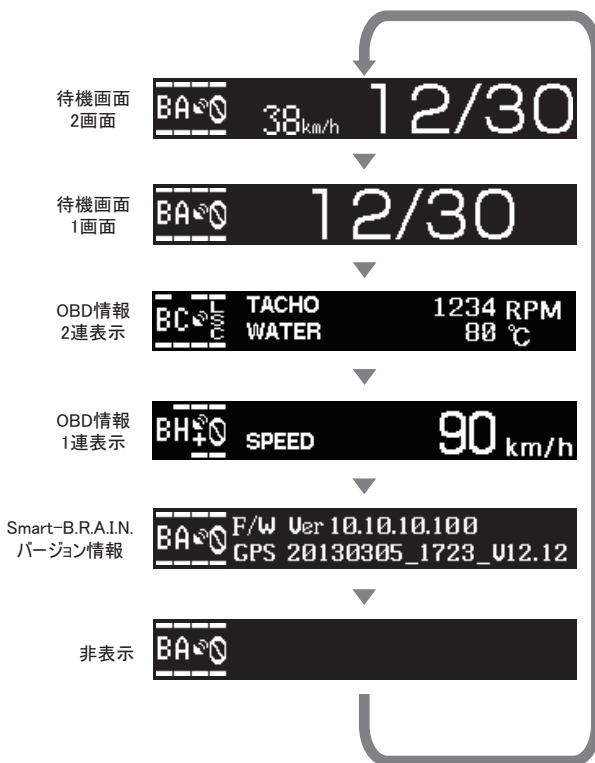
- ・ OBD メインハーネスを抜き差しする際は、必ず車両のエンジンが停止している状態 (キー OFF 状態) で行ってください。
- ・ ハンドル操作やアクセル、ブレーキ等のペダル操作、運転操作の妨げにならないよう配線を行って下さい。事故や怪我の原因となります。
- ・ 弊社製品を含む、その他 OBD 製品とは併用することができません。車両側 OBD コネクタの分岐や OBD ハーネスを配線加工等で又取りされますと、本製品が正常に動作しません。本製品およびその他電装部品が破損する可能性がありますので行わないでください。

- ・ 車両側の故障診断コネクタ (OBD II コネクタ) の位置は弊社ホームページより本製品の最新適合表をご確認ください。
- ・ 車両側の故障診断コネクタ (OBD II コネクタ) にカバーが付いている車両の場合、OBD メインハーネスを接続することにより、カバーが閉まらなくなることがあります。
- ・ 一部の車両で、OBD メインハーネスのコネクタロック部分が車両側の故障診断コネクタ (OBD II コネクタ) 周辺の内装パネルに干渉し、そのままでは取付けができない場合があります。その際は内装パネルから車両側のコネクタを取り外して接続して頂く必要があります。
- ・ NISSAN NON OBD ハーネスを使用する場合は、NISSAN NON OBD ハーネス (別売) の取扱説明書に従って接続してください。

基本操作

待機画面の切替え

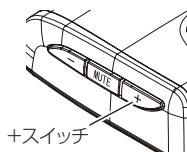
- 待機画面の表示パターンを6種類（非表示含む）から選択できます。
- 待機画面表示中に【MUTE】スイッチを**長押し**することで、表示パターンを切替えることができます。



- スマートフォン接続時は表示切替を行うことができません。
- 待機画面については別冊のレーダー機能 取扱説明書を参照してください。

OBD 情報表示項目の切替え

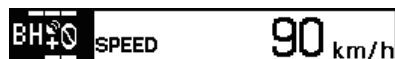
1. OBD 情報の表示画面を 1 連表示、または、2 連表示に切替えます。
2. 本体側面の【+】スイッチを**長押し**し、画面表示を選択状態にします。
3. 変更したい項目が選択状態になっていることを確認し、【+】スイッチを短押しすることで、OBD 情報の項目を切替えることができます。
4. 2 連表示に設定している場合、【MUTE】スイッチを短押しすることで、上段から下段に選択状態が移行し、下段の項目を変更することができます。



+スイッチ



2 連表示選択状態

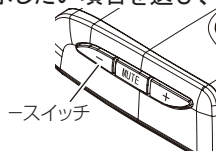


1 連表示選択状態

※ 項目の選択状態は最後の操作を終了してから約 5 秒が経過すると、通常の表示状態に戻ります。

ピーク表示とリセット

1. OBD 情報の表示画面 1 連表示、または、2 連表示に切替えます。
2. 本体側面の【+】スイッチを**長押し**し、ピークを表示したい項目を選び、選択状態にします。
3. 【-】スイッチを短押しすることで、ピーク値の表示に切り替わります。
4. 項目選択状態、かつ、ピーク値が表示されている状態で、【-】スイッチを**長押し**することで、ピーク値をリセットすることができます。



-スイッチ

※ ピーク値を表示した状態で通常表示状態に戻ってもピーク値表示を維持します。ピーク値を表示している間は、下記のような表示になります。



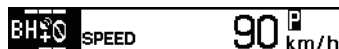
2連ピーク表示



1連ピーク表示



2連ピーク表示(選択中)



1連ピーク表示(選択中)

基本操作

表示項目一覧

表記項目	単位	内容
TACHO	RPM	エンジン回転数
SPEED	km/h	車速
IGNIT	deg	点火時期
THROT	%	スロットル開度
WATER	℃	水温
OIL	℃	エンジン油温 / ATF 油温（適合表をご確認ください）
INTAK-T	℃	吸入空気温度
OUTSIDE-T	℃	外気温度
INMANI	hkPa	インマニ圧 / ブースト圧
MAF	g/s	吸入空気量
INJ	ms	インジェクター噴射時間
BTT	V	バッテリー電圧
POWER	PS	パワー
TORQUE	Nm	トルク
DISTANCE	km	走行距離
F-AVE	km/L	平均燃費
F-MILEAGE	km/L	積算燃費
F-CONSUM	L	燃料消費量
COST	yen	燃料代金
BTT CAPA	%	（HYBRID 専用項目）全電池容量
M-TORQUE	Nm	（HYBRID 専用項目）フロントのモータートルク
M-TACHO	RPM	（HYBRID 専用項目）フロントのモーター回転数
M-POWER	PS	（HYBRID 専用項目）フロントのモーターパワー
BTT VOLT	V	（HYBRID 専用項目）電池電圧
E-POWER	PS	（HYBRID 専用項目）エンジンパワー
E-TORQUE	Nm	（HYBRID 専用項目）エンジントルク

※ 詳細は弊社ホームページより本製品の最新適合表でご確認ください。

- INMANI（インマニ圧 / ブースト圧）の表示範囲は以下になります。これは OBD から得られる車両側からの信号の表示限界値です。

通信	インマニ圧表示範囲
TOYOTA / HONDA1 ~ 2 / SUZUKI / DAIHATSU / MITSUBISHI CAN / ISO CAN	-1.01 ~ 1.54hkPa (絶対圧)
SUBARU	-1.28 ~ 1.27hkPa
MITSUBISHI	-1.05 ~ 0.05hkPa

- INMANI（インマニ圧 / ブースト圧）を絶対圧で測定している車両の場合、高地（気圧の低い場所）でエンジンを停止すると、若干負圧を表示し、0にならない場合があります。
- INMANI（インマニ圧 / ブースト圧）について NA 車両のブースト圧は正圧域の表示を保証するものではありません。車両 ECU の定義に沿った表示となるため、正圧域は表示できない可能性があります。
- DISTANCE（走行距離）、F-MILEAGE（積算燃費）、F-CONSUM（燃料消費量）、COST（燃料代金）はリセットを行うまで積算します。
- F-AVE（平均燃費）はエンジン停止（キー OFF）毎にリセットを行います。
- E-POWER（エンジンパワー）、E-TORQUE（エンジントルク）はモーターを含まないエンジン単体の値となり、リアにモーターを搭載した車両ではエンジン + リアモーターの値になります。
- 各種 POWER、TORQUE についてはカタログスペックと異なる場合があります。
- 表示する項目は車種ごとに異なるため、選択項目の全てを表示できるわけではありません。車種ごとに表示可能な項目については、弊社ホームページより本製品の最新適合表をご確認ください。

スマートフォンでできること

スマートフォンで使える機能



本製品は、無料アプリ『SmartBRAIN01』を使用し、Bluetooth 機能でスマートフォンと接続することができます。スマートフォン上で OBD 情報の多彩な表示や、各種設定・機能を使用することができます。

※ ご使用のスマートフォンによっては接続できない場合があります。弊社ホームページより本製品の最新適合表をご確認ください。

※ 各種設定・機能の詳細については、アプリのヘルプをご覧ください。

OBD II 設定

各種表示項目のワーニング上限値・下限値の設定やピークのリセットを行うことができます。

- ・ ワーニング中は下記のようなディスプレイ表示と警告音で運転者にお知らせします。



2連ワーニング表示



1連ワーニング表示

車両設定

取付ける車両の重量や排気量等の設定を行うことができます。本設定はパワー表示に関係しています。

燃費設定

走行距離や燃料使用量の補正、燃料代金の設定を行うことができます。本設定を行うことにより、各種燃費項目の表示、走行距離、燃料消費量及び燃料代金の表示精度を高めることができます。

データロギング機能

OBD から得られた情報をマイクロ SD カードに保存する設定を行うことができます。保存したデータを弊社の DATA LOGGING SOFT にて解析を行えます。
(⇒ P19)

故障診断機能

一部の通信方式でチェックランプやエラーの内容確認・消去を行うことができます。

※ 主に ISO CAN 通信採用車で使用することができます。車種により、故障診断数表示機能のみ対応している場合や、本機能が使用できない場合もあります。

※ 本機能の車種別適合情報及び、故障診断内容に関するお問い合わせには弊社では一切お受けできませんのでご了承ください。

※ 一部の故障診断コードに関しては、弊社ホームページにて公開しております。

注意

- ・ 運転者は走行中に Smart-B.R.A.I.N. 本体やスマートフォンの操作を絶対に行わないでください。操作するときは、必ず車両を安全な場所に停車してから行うか、同乗者が操作を行ってください。
- ・ ご使用のスマートフォンによっては接続できないことがあります。本製品の最新適合表でスマートフォンの対応機種をご確認ください。
- ・ スマートフォン接続中は 3G、4G LTE 回線、もしくは、Wi-Fi によるインターネット接続が必要になります。アプリ使用中はスマートフォンの通信料が発生する場合があります。
- ・ スマートフォンをオーディオ、ナビゲーションやその他周辺機器と接続した状態では本製品が正常に動作しない場合があります。
- ・ アプリが正常に動作しない、強制終了する場合は、スマートフォンのメモリ使用量が高い可能性があります。その他アプリの終了や再起動を行い、空きメモリを増やしてください。
- ・ アプリを使用するとスマートフォンのバッテリー消費が多くなります。充電しながらの使用をお勧めします。

スマートフォンでできること

スマートフォンと接続する

1. 「SmartBRAIN01」アプリをダウンロードし、インストールします。

- iPhone の場合

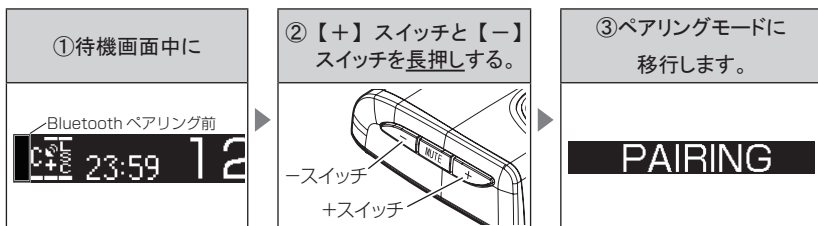
AppStore からアプリをダウンロードします。

- Android の場合

Google play からダウンロードします。



2. 待機画面表示中に Smart-B.R.A.I.N. 本体の【+】スイッチと【-】スイッチを**同時長押し**し、ペアリングモードに移行します。



3. スマートフォンと Bluetooth 接続します。

- iPhone の場合

『設定』⇒『Bluetooth』を ON 後、『デバイス』から『SmartBRAIN』を選択しペアリングします。

※ iOS のバージョンによってメニューの場所が異なる場合があります。

- Android の場合

『menu』⇒『設定』⇒『無線とネットワーク』⇒『Bluetooth』を ON 後、『Bluetooth 設定』⇒『デバイスの検索』⇒『SmartBRAIN』を選択し、ペアリングします。

※ Android 端末によって選択項目、名称が異なる場合があります。

4. 「SmartBRAIN01」アプリを起動します。

※ スマートフォンと Smart-B.R.A.I.N. が正常にペアリング接続できていると、Bluetooth アイコンが表示されます。



※ Smart-B.R.A.I.N. 本体の画面表示が OBD 情報、または、バージョン情報を表示した状態でアプリを起動した場合、自動的に待機画面表示に切り替わりします。

DATA LOGGING SOFT

OBD からの情報をマイクロSDカードに保存する設定を行うことができます。

- ・ データを簡単に取出し、別途 DATA LOGGING SOFT がインストールされた PC でのデータの解析を行うことができます。
- ・ OBD アダプター本体と PC を USB で直接接続することで、DATA LOGGING SOFT でのリアルタイムロギングも可能となります。

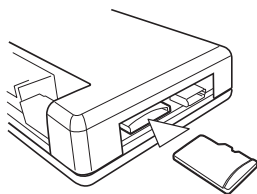
※ DATA LOGGING SOFT のダウンロードには、カスタマー登録が必須となります。
(⇒ P22)

※ ロギング機能の操作については、アプリのヘルプをご覧ください。

※ ロギング機能を使用する際は、必ず空にしたマイクロ SD カードを使用してください。

※ 本製品にはリアルタイムロギング機能を使用するために必要な USB ケーブルを付属していません。市販の片側がマイクロ USB 形状の USB ケーブルを、別途ご準備して頂く必要があります。

※ マイクロ SD カードを OBD アダプター本体のスロットに挿入する際は、向きを間違えないように、カードがロックするまでしっかりと挿入してください。



⚠ 注意

市販のマイクロ SD カードを使用する場合、種類によっては Smart-B.R.A.I.N. で認識できず、正常にログが保存できない場合があります。必ず弊社ホームページより使用可能なマイクロ SD カードをご確認頂くか、本製品付属のマイクロ SD カードをご使用ください。

OBD アダプター本体をアップデート

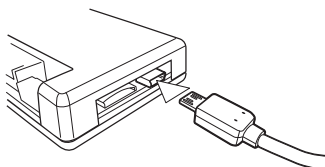
- ・ OBD アダプター本体のアップデートには、別途 USB ケーブルとノート PC が必要となります。また、アップデートには カスタマー登録 が必須となります。(⇒ P22)

- ・ 詳しくは、アップデートソフトに同梱している、説明書をご覧ください。

1. 弊社ホームページよりアップデートソフトとアップデートファイルをダウンロードします。
2. Smart-B.R.A.I.N. 本体の電源を OFF にし、車両の OBD コネクタから OBD メインハーネスを抜きます。
3. OBD アダプター本体の DIP スイッチを全て ON (下) の状態に設定します



4. OBD アダプター本体とノート PC を USB 接続し、OBD メインハーネスのコネクタを車両側に接続します。

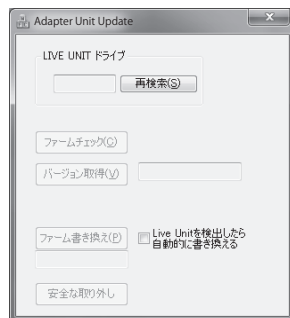


※ OBD アダプター本体のアップデートに使用する USB ケーブルは本製品には同梱されておられません。市販の片側がマイクロ USB 形状の USB ケーブルを、別途ご準備して頂く必要があります。

- ※ 必ずエンジンを停止 (キー OFF) し、OBD コネクタを車両側コネクタから抜いた状態で、USB で PC と接続してください。OBD アダプター本体に電源が供給された状態で USB を接続すると PC が OBD アダプター本体を認識できません。
5. エンジンをかけ (キーを ON にし)、PC 上に『S-brain』ディスク (フォルダ) が表示され、正常に認識できていることを確認してください。
 6. 弊社ホームページよりダウンロードした、アップデートファイル『FIRMWARE.BIN』を、アップデートソフトが入ったフォルダに移動し、ソフトを起動してください。

※ アップデートソフトとアップデートファイルが同じフォルダに入っていないと、ソフトでアップデートファイルを認識できないため、正常にアップデートを行えません。

※ アップデートファイルの名前は絶対に変更しないでください。名前を変更すると正常にアップデートを行うことができません。



7. ソフトに『S-brain』のドライブ名の記号が表示されていることを確認してください。

※ ドライブ名の記号が表示されていない場合、アップデートソフトがアダプタ本体を認識していません。再度アダプタ本体を接続し直してください。

8. 【バージョン取得】ボタンで現在のバージョンを確認します。

※ バージョンを確認し、最新であった場合、特にアップデートを行う必要はありません。

9. 【ファーム書き換え】ボタンを押し、アップデートを行います。

※ アップデート中は絶対に USB や OBD コネクタを抜いたり、車両のエンジンを切らない（キー OFF しない）でください。故障の原因となります。

10. 『書き換え成功』のメッセージが出ればアップデートが完了です。

11. 【ファームチェック】で正常に書き込まれているかを確認し、【バージョン取得】で最新バージョンになっているかを確認してください。

※ エラーが出る場合は再度、アップデートを行って下さい。

12. 【安全な取り外し】ボタンを押し、エンジンを止め（キー OFF）、USB を抜いてください。

※ アップデート前に【ファームチェック】ボタンを押しますと、『ファームウェアは破損しています』というメッセージが出ることがあります。これは故障ではありません。【ファームチェック】は書き込みが正常に行われたかを確認するための機能です。手順通りアップデートを行ってください。

※ OBD アダプターのアップデート環境をお持ちでないお客様は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

⚠ 注意

- OBD アダプター本体のアップデートは、絶対に走行中に行わないでください。
- OBD アダプター本体を PC に接続するときは USB ハブを使用しないでください。通信が安定せず、正常にアップデートを行えない場合があります。
- OBD アダプター本体のアップデート後、Smart-B.R.A.I.N. が起動するまでに 1 ～ 3 分程度、時間がかかる場合があります。電源スイッチを ON にし、しばらくお待ち頂いてからご使用ください。
- 本機能の DIP スイッチの設定は OBD アダプター本体のアップデートでのみ使用する設定です。アップデート後は、必ず OBD アダプター本体の DIP スイッチの設定を通常の設定（⇒ P9）に戻してください。Smart-B.R.A.I.N. 本体の電源を OFF にしていても、車両のバッテリーが上がってしまう可能性があります。

製品保証とカスタマー登録

製品保証

本製品は製品保証を設けております。製品保証を受けるためにはカスタマー登録が必要となります。

保証内容について

- ・ 弊社の製品保証は、保証書に記載されたお客様、製品期間、保証規定に基づいて、本製品が正常なご使用状態で製造上の原因による故障が生じた場合には、弊社による製品の無償保証をお約束するものです。したがってカスタマー登録後、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。また、いずれかひとつでも保障規定の免責事項に該当する場合は、保証期間内であっても保証対象外となりますので、予めご了承ください。
- ・ 弊社は印刷物の内容に万全を期しておりますが、万が一、印刷の誤りなどがあった場合には、弊社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。
- ・ 弊社は必要とみなした場合に予告なしに保証規定を改定する権利を有しております。当規定において保証内容の変更があった場合、改定後の保証内容に基づいて保証させていただきます。
- ・ 本製品が原因で生じた傷害（車両トラブル、その他の事故一切）や自動車が使用できなかったことによる損失などにつきましては、一切の保証は致しかねます。また、その際に発生するすべての費用（脱着工賃、関連作業工賃、送料・関連して生じた直接および間接の損失、損害）につきましても、弊社では一切責任を負いかねますので予めご了承ください。

カスタマー登録について

お買い上げいただいたお客様に弊社規定に基づいた製品保証を提供させていただくために「カスタマー登録」をお願い致します。

下記 Web サイトよりオンライン上で簡単に登録が可能ですので、必ずご登録をお願い致します。

パソコンをお持ちでないお客様は弊社サポートセンター（0422-60-2277）までお問い合わせください。

尚、カスタマー登録されていない場合、保証期間内であっても保証対象外となりますので、ご注意ください。

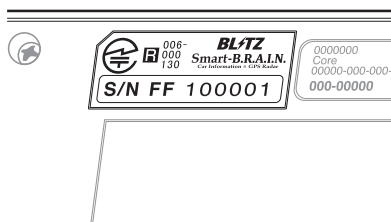
<http://www.blitz.co.jp/support/registration/registration.html>

株式会社ブリッツ（以下「当社」といいます）はお客様からお預かりした個人情報の保護はきわめて重要なことと認識しており、関係法令および規範を厳守し、以下の個人情報保護を定め確実な履行に努めてまいります。

- ・ 当社では、お客様へのサービスの充実や製品の品質向上、また採用活動のため、必要な範囲でお客様の個人情報を収集することがあります。収集するにあたっては、できる限り目的を限定し、お客様の同意を得たうえで適切な方法で収集いたします。
- ・ 当社は、お客様の個人情報を、お客様の同意なしに義務委託先以外の第三者に提供することはありません。ただし、法令により開示を求められた場合、または裁判所・警察等の公的機関から開示を求められた場合はその限りではありません。
- ・ お客様自身のお申し込みがあった場合、情報の開示・訂正・削除を速やかに行います。

シリアル No. の登録について

カスタマー登録の際に、必ず本製品のシリアル No. が必要になります。
シリアル No. は Smart-B.R.A.I.N. 本体裏側に貼られたシールの【S/N FF】以降の 6 ケタの数字です（下記イラスト参照）。また、保証書にも同様のシリアル No を印字したシールが貼られていますので、本体のシールと同一の番号であるか確認をお願いします。



製品についてのお問い合わせ

連絡先	株式会社ブリッツ サポートセンター
所在地	〒 202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6
TEL	0422-60-2277
FAX	0422-60-0066
URL	http://www.blitz.co.jp/

発売元

連絡先	株式会社ブリッツ
所在地	〒 202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6

初期状態に戻す（オールリセット）

登録・設定した全てのデータをリセット（初期化）し、お買い上げ時の状態に戻します。
※ 更新した GPS データは初期化されません。

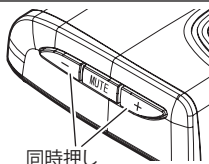
⚠ 注意

- ・ 消去したデータの復元はできません。
- ・ お買い上げ時にあらかじめ登録してあるデータは消去できません。
- ・ ディスプレイモード中はオールリセットできません。

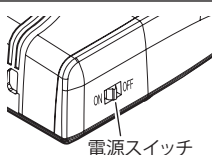
リセット方法

電源スイッチが OFF の状態で、Smart-B.R.A.I.N. 本体側面にある【+】スイッチと【-】スイッチを同時に押しながら、電源スイッチを ON にしてください。

① 【+】スイッチと【-】スイッチを同時押ししながら ※ 1



② 電源スイッチを ON にする



③ 「オールリセット」の表示後に、「再起動してください」と画面表示されればリセット完了です。

オールリセット



再起動してください

- ・ 本体を再起動して待機画面が表示すれば終了です。

※ 1 オールリセットの画面が表示するまで押し続けます。

ディスプレイモード

Smart-B.R.A.I.N. の一連の動きをデモンストレーションします。



- ・ディスプレイモード中に同じ操作をすることで、ディスプレイモードの解除ができます。

※ 電源が入らない場合は、DIP スwitch の設定、もしくは、車両の適合情報を弊社ホームページより本製品の最新適合表でご確認ください。

マニュアル電源供給モード

ご使用車両の通信方式にかかわらず、Smart-B.R.A.I.N. の電源を強制的に ON にする機能です。Smart-B.R.A.I.N. 本体が正常動作することを確認する場合にのみご使用ください。

1. Smart-B.R.A.I.N. 本体の電源を OFF にして、車両側 OBD コネクタから OBD メインハーネスを抜きます。
2. OBD アダプター本体の DIP スイッチの一番右のみを ON(下) にします。
3. OBD メインハーネスを車両側 OBD コネクタに接続し、Smart-B.R.A.I.N. 本体の電源を ON にします。



● Smart-B.R.A.I.N. の電源が入る場合

⇒ 製品には問題がありません。

再度 DIP スイッチ及び、車両の適合情報をご確認ください。

● Smart-B.R.A.I.N. の電源が入らない場合

⇒ 製品が故障している可能性があります。

ご購入店舗、もしくは、弊社サポートセンターにご相談ください。

⚠ 注意

- DIP スイッチの設定は爪楊枝や精密ドライバー等で確実に行って下さい。その際、怪我や OBD アダプター本体の破損には十分注意してください。
- DIP スイッチを設定する際は、必ず OBD メインハーネスを車両側コネクタから抜いた状態で行って下さい。接続時に DIP スイッチの設定を読み込むため、接続したままスイッチの操作を行っても設定は反映されません。
- OBD コネクタを抜き差しする際は、必ず車両のエンジンが停止している状態（キー OFF 状態）で、本製品の電源が OFF になっていることを確認してから行って下さい。
- 本機能はご使用車両が本製品に適合することを確認する機能ではありません。車両の適合に関しては弊社ホームページより本製品の最新適合表をご確認ください。
- 本機能を使用して電源を ON にした際、車両によっては OBD 情報の項目に数値が表示される場合があります。
- 本機能の DIP スイッチ設定状態で車両側 OBD コネクタに接続すると、本製品の電源が強制的に ON になります。Smart-B.R.A.I.N. 本体の動作確認用の機能ですので通常使用される際には絶対に本機能を使用しないでください。
- 本製品を本機能のまま使用し続けると、Smart-B.R.A.I.N. 本体の電源を OFF にしていても、車両のバッテリーが上がってしまう可能性があります。必ず確認後は、本製品を取り外すか、通常動作の設定（⇒ P9）に戻してください。

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	●電源スイッチは ON になっていますか？ ●本体を正しく接続していますか？ ●DIP スwitch の設定が車両ごとの設定内容と合っていますか？ ●ご使用車両は適合していますか？ ●アダプター本体のアップデートに失敗していませんか？	5 ページ 10 ページ 8.9 ページ 適合表参照※ 20 ページ
オープニング画面が表示されず、エラー画面が表示される	●データ更新をした後ではないですか？データ更新が正常に終了していないと、電源が入らないことがあります。再度データ更新を行ってください。	別紙参照※
電源が切れない	●IG 用シガープラグは使用していますか？ ●強制電源 ON モードになっていませんか？	11 ページ 26 ページ
シガープラグを使用しているが電源が入らない	●本体を正しく接続していますか？ ●シガープラグのヒューズは飛んでいませんか？	10 ページ
シガープラグを使用しているが電源が切れない	●一部車両（輸入車）でシガープラグを使用しても電源が切れないことがあります。	11 ページ
ディスプレイが真っ黒表示になる	●ディスプレイの動作温度範囲を超えていませんか？ ●ディスプレイ表示設定を非表示にしていますか？	27 ページ 12 ページ
速度表示が車両スピードメーターと異なる	●車両スピードメーターは実際の速度よりも高く表示される傾向があります。	-
OBD の数値が動かない	●ピーク表示になっていませんか？ ●ご使用車両で表示可能な項目ですか？	13 ページ 適合表参照※
OBD の数値が出ない	●強制電源 ON モードになっていませんか？	26 ページ
適合表と表示項目が違う	●年式やグレードの違いで、車両の仕様が変更されている場合があります。	適合表参照※
アップデートができない	●OBD アダプターのアップデートの方法は正しいですか？	20 ページ
ログが保存されない	●マイクロ SD カードはしっかりとさっていますか？ ●マイクロ SD カードに余計なデータは入っていませんか？ ●ご使用のマイクロ SD カードは本製品同梱のものですか？	19 ページ 19 ページ 19 ページ

※ 適合表参照・・・弊社ホームページより本製品の最新適合表を参照してください。

※ 別紙参照・・・別冊のレーダー機能 取扱説明書を参照してください。

製品仕様

Smart-B.R.A.I.N. 本体

電源電圧	DC12V 専用	受信周波数
最小消費電流	160mA 以下	・ GPS (1575.42MHz)
最大消費電流	270mA 以下	・ X バンド (10.525GHz)
受信方式	パラレル 30ch ダブルスーパーヘテロダイン	・ K バンド (24.200GHz)
測位更新時間	最短 1 秒	・ 取締り用連絡無線 (350.1MHz 帯)
検波方式	FMトラッキングタイムカウント方式	・ カーロケーターシステム (407MHz 帯)
動作温度範囲	-10℃～60℃	・ デジタル無線 (159～160MHz 帯)
本体サイズ	89 (W) × 63 (D) × 24 (H) ／ mm 突起部除く	・ 署活系無線 (347MHz 帯、361MHz 帯)
ディスプレイ	46.0 (W) × 5.7 (H) ／ mm	・ ワイド無線 (336～338MHz 帯)
表示面積	1.8 インチ EL	・ 警察ヘリテレ無線 (340～372MHz 帯)
重量	102g	・ 消防ヘリテレ無線 (382～383MHz 帯)
プロファイル	SPP	・ 取締特小無線 (422MHz 帯)
BT Version	2.1	・ レッカー無線 (154MHz 帯、465～468MHz 帯)
送信出力	Class2	・ 新救急無線 (371MHz 帯)
		・ 消防無線 (150MHz 帯、466MHz 帯)
		・ 高速管理車両無線 (383MHz 帯)
		・ 警察活動無線 (162MHz 帯)
		・ 警備無線 (468MHz 帯)
		・ タクシー無線 (458～459MHz 帯、467MHz 帯)

※ 本製品はおもに取締りに使用されている周波数を中心に受信します。そのため、記載されている周波数帯であっても受信できない周波数があります。

OBD アダプター本体

電源電圧	DC12V 専用
消費電流	50mA 以下
動作温度範囲	-10℃～60℃
本体サイズ	76 (W) × 54 (D) × 17 (H) ／ mm 突起部除く
重量	36g

商標について

- Android および Google Play は Google inc の商標または登録商標です。
- iPhone は米国およびその他の国で登録されている Apple inc の商標です。
- Bluetooth® は米国 Bluetooth SIG, inc. の商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 道路交通情報は中日本エクシス株式会社が提供する iHighway ハイウェイ交通情報ケータイサイト <http://c-ihighway.jp/> を表示します。
- “Made for iPhone” means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPhone and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPhone may affect wireless performance.
- COBRA IRADAR, POWERED BY COBRA IRADAR と Powered by Cobra iRadar Logo は米国の Cobra Electronics Corporation からのライセンスにもとづき使用できる、米国で登録されている商標です

さくいん

1/A	
Bluetooth 接続	18
DATA LOGGING SOFT	19
DIP スイッチ設定一覧	9
DIP スイッチの設定	8
OBD II 設定	16
OBD 情報表示項目切替え	13
OBD メインハーネスの接続	10 ~ 11
USB 接続	20
あ	
アップデート	20
オールリセット	24
お問い合わせ	23
か	
各部の名称	5
カスタマー登録	22
故障かな?と思ったら	27
故障診断機能	17
梱包内容	7
さ	
車両設定	16
スマートフォンでできること	16 ~ 18
スマートフォンと接続	18
製品仕様	28
製品保証	22
た	
待機画面の切替え	12
データロギング	16, 19
ディスプレイモード	25
取付け	8 ~ 11
な	
燃費設定	16
は	
ピーク表示	13
表示項目一覧	14
ペアリング	18
本体の接続	10
ま	
マイクロ SD カード	19
マニュアル電源供給モード	26
わ	
ワーニングの設定	16

